

# 小豆島移住 先輩に聞く

小豆島への移住を希望する人たちを対象にした「小豆島暮らしガイドツアー」が5〜7日、開催された。実際に移住してきた人らが島暮らしの魅力を紹介する企画で、「子供を自然の中で育てたい」という家族連れや「オリーブ栽培に興味がある」という女性、「シェアハウスに住みたい」というお年寄りら15人が県外から参加した。

(小豆島通信員 新居直子)



## 希望者ツアーに15人

小豆島は都会からの移住先として注目を集めており、昨年度は約270人が移り住んだ。島でもこうした人々を支援しようと、4月に移住者らでNPO法人「トティエ」を発足。地域おこし協力隊員として活躍する向井達也さん(27)が事務局長に就き、働き口や住居を紹介している。

今回は小豆島、土庄の両町と協力しながら、3日間をかけてハローワークによる就職面接会のほか企業訪問、空き家の見学などを実

施した。小豆島町のしょうゆメーカー「金面」では、木おけのたるでしょうゆ造りを行っている蔵を見学し、製造方法や商品の説明を受けた。

島での生活を具体的にイメージしてもらおうと、3月に東京から移住してきた大西時雨さん(30)、沙恵さん(29)夫婦を招いての交流会もカフェで開催。「東京では通勤に1時間かかったが、今は仕事前に畑の手入れをし、穏やかな暮らしをしている」「スカイプ(インターネットのテレビ電話)をしていると、相手から『島の鳴き声がすごいね』と驚かれた」。IT企業で在宅勤務の道を選んだ大西さんが充実した生活ぶ

りを語ると、参加者たちは興味深そうに聴き入った。島でハローワークをすることを夢見る大阪府四條畷市の20歳の女性会社員は「同じ目的を持つ人たちと情報交換して、住む家や仕事などもイメージ

できたのがよかった。」「小豆島暮らしガイドツアー」は、今年度中開催する。向井さん加者の要望を参考にさらに内容を充実させたいと話した。

## 家、仕事 情報交換

しょうゆメーカーで経営者(右)から商品の説明を聞く参加者たち(小豆島町で)